

【ねらい】

- ① しり通りの答えを探しながら歩くことで、無理なく自然に身体を動かす。
- ② 地域を再発見したり、季節の変化を感じたりする。
- ③ チームで実施することで役割分担が生まれたり、仲間作りが進んだり、グループワーク効果が期待される。

【準備】

- ① 撮影をするためのスマホやタブレット、もしくはデジカメ。
- ② 上映会のためのモニターやプロジェクター、スクリーン等。
- ③ 電源、延長コード。

【進め方】

- ① 児童館内や地域などに、「リアル」に存在するものを、「しりとり」の順番でたどっていく遊びであることを伝える。
- ② 後で確認するためにスマホなどで撮影しておいてもらう。
- ③ 児童館のなか、公園内、地域のどこどこまでと、行ってもいい場所の範囲をしっかりと確認しておく。
- ④ 制限時間を定める(30分～1時間程度)。児童館に戻ってくるのが遅くても、早くても減点とする。(例えば、玄関に入るまでの時間などと厳密に決めておく。)
- ⑤ しり通りの数、意外性、おもしろさ、撮影した写真の美しさ、名前の長さ等、複数の評価基準を設定し、子どもたちに伝える。
➢ たくさん撮ったで賞、ユニーク賞、芸術賞など。
- ⑥ 全員が戻ったら、画像をみんなで鑑賞して楽しむ。
- ⑦ NGワードを書いて封筒等に入れておき、後で発表するなどしてもおもしろい。

【援助のポイント】

- ① 当日使うスマホやタブレット、デジカメの使い方は予め確認し、子どもたちにも伝えておく。
- ② スマホ等で撮影した写真を事前に投影してみて、必要な機材や場所の設営方法等を確認しておく。
- ③ 1チーム、3～5人程度。状況により、職員や地域の人、中高生などに協力を求め、安全管理を行う。

【発展1】

- ① 「しりとり」は、静止物だけでなくもよい
例えば、
 - 1) ジェスチャーゲームのように、自分たちで動作をしてそれを撮影する。
 - 2) 「サッカー」を、ジャスチャーで動作し、動作後に全員で「サッカー」と叫ぶ。
 - 3) その次に、「カメ」のジェスチャーをする。
- ② このやり方の場合、地域を歩くことが難しい場合、館内で実施が出来る。

【発展2】

- ① テーマ「しりとり」で行う。
例えば、
 - 1) 「生きているもの」をできるだけたくさん写してくる。
「猫」「犬」「だんごむし」「おばあちゃん」「子ども」・・・
 - 2) 「スポーツ」をできるだけ、たくさん表現する。
「サッカー」「野球」「スケボー」・・・
- 1) は、探してきて撮影する。
2) は、館内で行う。